

## 巻頭言

### 大学の夢・願いとセンタースタッフの自己実現の場を

信州大学総合情報センター長  
不破 泰

大学の情報系センターの使命は、大学内の情報システム全体の整備運営を行うとともに大学の情報戦略を担当し、大学全体を見据えた情報施策の策定と推進により、大学の教育、研究、社会貢献への取組に寄与する事にあります。さらに東日本大震災を機に、キャンパスの安全・安心を情報戦略の推進により実現する事も重要な使命となってきました。このため、情報戦略の基幹となる情報システムの安定運用と大規模災害時における必要サービスの継続を実現する、システムの耐障害性の向上、様々なサービスのクラウド化、認証システムの連携等を基軸とした新基盤情報システムの構築が求められています。

これらの使命に取り組むためには、

- ・ 情報通信基盤を設計導入し、日々管理する部門
- ・ 情報通信基盤を利用する大学構成員への支援と、セキュリティの確保のために管理・教育を行う部門
- ・ さらに問題解決を既存の技術のみに頼るのではなく、長期的観点にたつて自ら研究開発する部門

が必要です。そして、この3つ全ての部門のミッションは、既存の製品やサービス等をただ導入するだけで実現できるものではありません。そこには多くのイノベーションが必要です。

国立大学法人情報系センター協議会が毎年開催している研究集会は、このような中で創意工夫を続けている情報系センターのスタッフの発表と情報交換の場です。各大学が抱えている問題は多くの大学にとっても共通の問題でもあります。ですので、各大学が問題への取組を発表することで、多くの大学の問題解決に繋がります。また、その情報交換また次の創意工夫のステップを生みだします。

さらに、この研究集会は、教員だけではなく、技術系職員、事務系職員の皆さんによる発表も多く有ることが特徴です。そこには、学際的な発表だけではなく、大学が抱える具体的な問題に取り組む地に足が付いた多くの発表があります。

全国の国立大学法人情報系センターのスタッフが集まり、情報システムを通してこれからの大学を語る。そこには、学生と教職員がより高度な教育・研究に取り組むことができ、大学が果たす役割をさらにワンランクアップさせるという夢があります。また大学がより安全・安心な場になることへの願いもあります。さらに、集会はセンターに勤めるスタッフの自己実現の場でもあります。今年の研究集会もそんな様々な夢や願い、自己実現の場になればと思っています。